

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【公表番号】特表 2018-519920 (P2018-519920A)

【公表日】平成 30 年 7 月 26 日 (2018.7.26)

【年通号数】公開・登録公報 2018-028

【出願番号】特願 2017-568382 (P2017-568382)

【国際特許分類】

A 6 1 C 13/275 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 C 13/275

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 12 日 (2019.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ダイレクト歯科用ブリッジを支持するための補強結合であって、前記補強結合は、細長隣接面バーであって、

外周、歯冠界面および根尖界面によって境界される中央平面パッドと、

前記中央平面パッドの外周から近心方向に延出している第 1 の挿入アームと、

前記中央平面パッドの外周から遠心方向に延出している第 2 の挿入アームと、

前記中央平面パッドの歯冠界面から歯冠方向に延出している第 1 の垂直側壁と、

前記中央平面パッドの歯冠界面から歯冠方向に延出している第 2 の垂直側壁と、

を備える、細長隣接面バー

を備え、

前記補強結合は、

[ A ]

前記細長隣接面バーの外部に配置された第 1 の長手方向端部、および、前記第 1 の垂直側壁と前記第 2 の垂直側壁との間に配置された第 2 の長手方向端部を有する第 1 の細長トルクバー、および

前記細長隣接面バーの外部に配置された第 1 の長手方向端部、および、前記第 1 の垂直側壁と前記第 2 の垂直側壁との間に配置された第 2 の長手方向端部を有する第 2 の細長トルクバー、

または、[ B ]

前記細長隣接面バーの外部に配置された第 1 の長手方向端部および第 2 の長手方向端部、ならびに、前記細長隣接面バーの第 1 の垂直側壁と第 2 の垂直側壁との間に挿入された中央部分を有する歯科用繊維

のどちらかをさらに備える、補強結合。

【請求項 2】

前記第 1 の垂直側壁および前記第 2 の垂直側壁によって境界される、前記中央平面パッドの歯冠界面は、第 1 および第 2 の対向する長手方向開口端で溝を形成し、前記第 1 および第 2 の対向する長手方向開口端の各々は、前記第 1 の挿入アームおよび前記第 2 の挿入アームのうち少なくとも 1 つと位置合わせされて連絡している、請求項 1 に記載の補強結合。

## 【請求項 3】

前記第 1 の垂直側壁および前記第 2 の垂直側壁の対向する内表面は内側に曲がっており、前記第 1 の垂直側壁および前記第 2 の垂直側壁によって形成された溝の横断面はハトの尾の形状を有する、請求項 2 に記載の補強結合。

## 【請求項 4】

前記第 1 の垂直側壁は、前記中央平面パッドの歯冠接面ならびに前記第 1 の挿入アームおよび前記第 2 の挿入アームのうち少なくとも 1 つの同一平面上の歯冠表面から歯冠方向に延出しており、前記第 2 の垂直側壁は、前記中央平面パッドの歯冠接面ならびに前記第 1 の挿入アームおよび前記第 2 の挿入アームのうち少なくとも 1 つの同一平面上の歯冠表面から歯冠方向に延出している、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の補強結合。

## 【請求項 5】

前記細長隣接面バーは、前記第 1 の細長トルクバーおよび前記第 2 の細長トルクバーと組み合わせて使用され、前記第 1 の細長トルクバーおよび前記第 2 の細長トルクバーの各々の角度方向は、前記細長隣接面バーの縦軸から独立して独立して偏向することができ、前記縦軸は、前記細長隣接面バーの近心 - 遠心方向に配向されている、請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の補強結合。

## 【請求項 6】

前記細長隣接面バーは、前記第 1 の細長トルクバーおよび前記第 2 の細長トルクバーと組み合わせて使用され、前記第 1 の細長トルクバーおよび前記第 2 の細長トルクバーのうち少なくとも 1 つは屈曲を含む、請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の補強結合。

## 【請求項 7】

前記細長隣接面バーは、前記第 1 の細長トルクバーおよび前記第 2 の細長トルクバーと組み合わせて使用され、前記第 1 の細長トルクバーおよび前記第 2 の細長トルクバーのうち少なくとも 1 つは、歯科用繊維によって補強されるレジンである、請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の補強結合。

## 【請求項 8】

前記細長隣接面バーは、歯科用繊維と組み合わせて使用され、前記歯科用繊維はレジン内の補強材である、請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の補強結合。

## 【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の補強結合を備えるキットであって、前記細長隣接面バーは、複数の異なるサイズで提供され、前記複数の異なるサイズの各々は、異なるサイズの臼歯に対応する、前記中央平面パッドの外周をもつ異なるサイズにされたパッドを提供し、前記キットは、ダイレクト歯科用ブリッジを作製する前記補強結合の使用のための指示をさらに備える、キット。

## 【請求項 10】

ダイレクト歯科用ブリッジを支持するための細長隣接面バーであって、前記細長隣接面バーは、

外周、歯冠接面および根尖接面によって境界される中央平面パッドと、  
前記中央平面パッドの外周から近心方向に延出している第 1 の挿入アームと、  
前記中央平面パッドの外周から遠心方向に延出している第 2 の挿入アームと、  
前記中央平面パッドの歯冠接面から歯冠方向に延出している第 1 の垂直側壁と、  
前記中央平面パッドの歯冠接面から歯冠方向に延出している第 2 の垂直側壁と、  
を備える、細長隣接面バー。

## 【請求項 11】

前記第 1 の垂直側壁は、前記中央平面パッドの歯冠接面ならびに前記第 1 の挿入アームおよび前記第 2 の挿入アームのうち少なくとも 1 つの同一平面上の歯冠表面から歯冠方向に延出しており、前記第 2 の垂直側壁は、前記中央平面パッドの歯冠接面ならびに前記第 1 の挿入アームおよび前記第 2 の挿入アームのうち少なくとも 1 つの同一平面上の歯冠表面から歯冠方向に延出している、請求項 10 に記載の細長隣接面バー。

## 【請求項 12】

前記第 1 の垂直側壁および前記第 2 の垂直側壁の両方は、前記中央平面パッドの歯冠接面ならびに前記第 1 の挿入アームおよび前記第 2 の挿入アームの両方の同一平面上の歯冠表面から歯冠方向に延出している、請求項 1 1 に記載の細長隣接面バー。

【請求項 1 3】

前記第 1 の垂直側壁および前記第 2 の垂直側壁は、前記細長隣接面バーの全長に及ぶ、請求項 1 2 に記載の細長隣接面バー。

【請求項 1 4】

前記第 1 の垂直側壁および前記第 2 の垂直側壁の対向する内表面は内側に曲がっており、前記第 1 の垂直側壁および前記第 2 の垂直側壁によって形成された溝の横断面はハトの尾の形状を有する、請求項 1 0 乃至 1 3 のいずれか 1 項に記載の細長隣接面バー。